

## ■ ffmpeg-phpのクラス・オブジェクトの使い方

作成: 2014.1.23 大角

**ffmpeg\_movie object**      ffmpegを利用した動画変換汎用クラスライブラリ

【クラス・オブジェクト】

ffmpeg_movie(ファイルパス[,モード])	video又はaudioファイルを開いて、オブジェクトを作成する [例] \$movie = new ffmpeg_movie('mv/cat.mpeg');
メソッド	概要
getDuration()	再生時間(秒)を取得
getFrameCount()	フレーム数を取得
getFrameRate()	フレームレート(fps)を取得
getFilename()	ファイル名を取得
getComment()	コメント内容を取得
getTitle()	タイトルを取得
getAuthor() alias getArtist()	ビデオの著作者又はMP3ファイルからアーティスト(ID3)を取得
getCopyright()	コピーライトを取得
getArtist()	MP3ファイルからアーティスト(ID3)を取得
getGenre()	MP3ファイルからジャンル(ID3)を取得
getTrackNumber()	MP3ファイルからトラック(ID3)を取得
getYear()	MP3ファイルから作成年(ID3)を取得
getFrameHeight()	フレームの高さを取得
getFrameWidth()	フレームの幅を取得
getPixelFormat()	ピクセル形式を取得
getBitRate()	ビットレート(bit/s)を取得
getVideoBitRate()	ビデオのビットレート(bit/s)を取得
getAudioBitRate()	オーディオのビットレート(bit/s)を取得
getAudioSampleRate()	オーディオ・サンプルのビットレート(bit/s)を取得
getFrameNumber()	現在のフレームNoを取得
getVideoCodec()	ビデオコーデックを取得
getAudioCodec()	オーディオコーデックを取得
getAudioChannels()	ムービーにあるオーディオチャンネル数を取得
hasAudio()	オーディオストリームをもつムービーかどうかのbooleanを返す
hasVideo()	ビデオストリームをもつムービーかどうかのbooleanを返す
getFrame([フレームのコマ数])	指定された動画のコマをffmpeg_frameオブジェクトとして取得する(省略時、次のフレーム)
getNextKeyFrame()	フレームオブジェクトのムービーから次のキーフレームの取得(ない場合は、Notfoundを返す)

**ffmpeg\_frame object**

GDのモジュールを利用して、フレーム処理をするクラス・ライブラリー

**【クラス・オブジェクト】**

<b>ffmpeg_frame(gd_image)</b>	GDImageから、フレームオブジェクトを作成する [例] \$frame = <b>new</b> <b>ffmpeg_frame</b> (\$gd_image);
<b>メソッド</b>	<b>概要</b>
getWidth()	フレームの幅を取得する
getHeight()	フレームの高さを取得する
getPTS()	フレームの現在時刻の取得 [ alias getPresentationTimestamp() ]
resize(width,height [,top [,bottom [,left [,right ]]])	リサイズとオプションでフレーム切り取り
crop(top [,bottom [,left [,right ]]])	フレームの切り取り
toGDImage()	フレームをGDオブジェクトとして取得する
<b>【パラメータ】</b>	width : 新フレーム幅(偶数)
	height : 新フレーム高さ(偶数)
	top : フレームのTop位置からの削除ピクセル行数
	bottom : フレームのBottom位置からの削除ピクセル行数
	left : フレームのLeft位置からの削除ピクセル行数 right : フレームのRight位置からの削除ピクセル行数